

「車線を守って車を走らせる」

——リカバリーコミュニティセンター（RCC）がドロップインセンター、12 ステップクラブハウス、アディクション治療機関と異なるところ——

コネチカット州 CCAR

フィル・バレンタイン

（協力してくれた仲間たちに感謝）

私は 1999 年 1 月に CCAR（コネチカット州アディクションリカバリーコミュニティ）に入職し、それ以来リカバリーコミュニティセンター（RCC）モデルの発展に関わってきました。CCAR は 2006 年時点で数年間の RCC 運営経験を持っていました。私はこの新しい事業体 RCC とは何であり、何でないかを明確にしたいと考え、その核心部分を書いてみました。それ以来、多くの組織がこの資料を参考に独自に RCC を設計しています。

RCC は、コミュニティの中心に根を下ろしたリカバリー志向の聖域（サンクチュアリ）です。RCC は回復を志向し、回復の資本を構築し、地域のリカバリーコミュニティのケア能力を CCAR が組織するための物理的拠点です。RCC は治療機関ではありません。また、12 ステップクラブでもないし、ドロップインセンターでもありませんが、これらすべての側面を持っていると言えます。RCC はボランティアを集め、ピアによるリカバリーサポートサービスを提供します。RCC は単に、人々がたむろしたり、テレビを見たり、トランプをしたり、玉突きをしたり、ミーティングに出たりする場所ではありません。私たちは既存の資源をもう一つ作る意図を持っていません。しかし、RCC は特定の社会的なイベントを開催します。RCC は、治療機関を紹介することを主な目的とするドロップインセンターではありませんが、緊急の助けを求められた場合、私たちは全力でお手伝いします。

・RCC は、回復に関連するワークショップ、研修、会合、サービス及び社会的イベントを提供するための体系的なスケジュールを持っています。

・RCC は、回復しているボランティア、家族、友人にターゲットを定め、彼らの後に続く人たちの回復を手助けします。

・RCC は長期間回復している人が恩返しをできる場所です。

・RCC は、回復に資するワークショップ、トレーニング、教育セッションなどを受けられる場所でもあります。

・RCC は、地域社会の回復資源として存在します。

ほぼ 10 年間の運営経験を積んだ後の 2013 年に、CCAR は「コアの要素」を見直す理由を見出しました。CCAR が運営している RCC の 1 つがコア要素から外れて「漂流」していたのです。その RCC は貧困問題が集中した地域にあったのですが、そこにコーヒーや洋服、バスの定期券、お金、食べ物などを求めて人が集まるようになりました。ホームレスの人たちは聖域と温かさを求めていました。精神に問題のある人たちは、遊ぶ場所を求めていました。スタッフたちは彼らを助けたいと思いました。ちょっとした助けや優しい言葉が回復につながるきっかけになるかもしれないと考えたのでしよう。ここが重要

なポイントになりました。ある人から何万ドルにも相当する新品の男性用スーツの寄付を受けることになり、間もなく街中の男性たちが無料のスーツを求めて RCC にやってくるようになりました。彼らは一様に自分はアディクションから回復中であり、就職面接のためにスーツが必要だと主張しました。

しかし、CCAR が想定していなかった問題が起き始めました。回復に関心のない人が次から次へとやってくるようになり、RCC 内の文化や雰囲気は徐々に悪化し始めました。回復に関心があるわけではなく、リカバリーをめざしているわけでもなくなりました。彼らは権利意識に燃え、生活物資に群がり、でも回復の資料には手を伸ばそうともしませんでした。ボランティアたちの意欲が薄れてきました。しばしば怒鳴り合いが起り、時には警察を呼ばなければならなくなりました。時間通りにシャワーを浴びない人たちが発する匂いに腹を立てる人たちがいました。しばらくすると、これらの問題を解決しようという機運が CCAR 内で高まってきました。オペレーションディレクターのデブ・デターの指揮の下で、RCC 内の文化と雰囲気の改善に取り組みました。彼らは記述されたすべての問題や他のいくつかの問題について予想を立てました。私は「RCC の核心」を再読したとき、イタリック体になっている箇所に気づきました。それは次の一文でした。

「RCC は治療センターでもないし、12 ステップクラブでもないし、ドロップインセンターでもないが、それらのすべての側面を持ち合わせている」

CCAR のリーダーチームは、この間の RCC の経験を記述することによって、もともと目指していたところまで戻るための解決策を見いだせるかもしれないと考えました。このような過程を経て、私たちは、RCC の特徴を理解するためにはもともとの中核的要素を詳しく知る必要があることに気づきました。そうした過程を経て、私たちは Stay in Your Lane: Distinguishing between a Drop-In Center, 12-Step Clubhouse, Recovery Community Center and Addiction Treatment Center を立案しました。

プログラムを明確にするために「自分の車線に留まる」というフレームワークを使用するというアイデアは、CCAR のリカバリーコーチアカデミーの参加者から生まれました。この参加者は、リカバリーコーチをスポンサー、カウンセラーと区別し、自分の車線に留まる役割を説明するために、この概念を使用しました。四つの組織タイプのそれぞれについて 21 の特性リストがグラフになっています。「Stay in Your Lane」は、スタッフ、ボランティア、参加者にとって分かりやすくなっており、うまくいっています。

リカバリーの方向性に再び焦点を当てるために、RCC は、各センターの目立つところに掲示する「ハロー！何かお手伝いしましょうか？」と書かれたディスプレイを印刷しました。（これはフィラデルフィアの RCO である PRO-ACT からの借り物です。感謝！）これらの段階を合わせることで、すべての RCC がリカバリーに焦点を当てるできるようになりました。以下に掲げるチャートは、CCAR RCC の主な対象者、すなわちアルコールおよびその他の嗜癖からリカバリーしている対象者を明らかにしています。二次的なメンバー（audience）も定義しました。時間の経過とともに、各 RCC での回復文化と調子が改善されました。私たちの経験が皆様の RCO や RCC の役に立つことを願っています。

謝辞: Bill White、Pat Taylor、Tom Hill、Deb Dettor、Andre Johnson、Bev Haberle、Gary DeCarolis、Mark Ames、Mary Jo McMillen、Julia Ojeda の各氏による協力、意見、提案に感謝いたします。